

年 組 名前：

### 風林火山

今回もデマが横行した。8日に宮崎県で震度6弱を観測した地震後、交流サイト(SNS)に拡散したのが「2024年8月14日に南海トラフがおこります」と具体的な日時を明記した投稿だ▼初めて出された「南海トラフ地震臨時情報(巨大地震注意)」の呼びかけは15日夕方に終了したが、お盆を前に世の中に不安感が広がった。ネット情報に騒ぎ立てる子どもたちに「そんなのウソだよ」とたしなめるも、投稿は6年前のものという▼単なる偶然。でも、こんなにびったり重なる怖い…。多くの人がそんな気持ちだったのではないか▼気象庁は「日時と場所と規模を特定して地震を予測することはできない」と否定。「デマに惑わされずに備えを」と呼びかけた▼惑わされないためにはどうしたらいいのか。ネット上の誤情報・偽情報の対策を行う非営利機関「日本ファクトチェックセンター」によると、災害時に広がる偽情報には①実際と異なる被害投稿(別の被災地映像など)②不確かな救助要請③虚偽の寄付募集④根拠のない犯罪情報(「盗賊団が集結中」など)⑤その他①の5類型があるという。パターンを知っておくだけでも安易な拡散を防ぐ一つの手だてになりそうだ▼14日が無事に過ぎ、わが家にも平穏が戻った。だが巨大地震の恐れがなくなったわけではない。非常時の備えとともに、確かな情報をどう見極めるか。子どもと一緒に考えたい。(久)

(2024年8月20日付 山梨日日新聞1面)

#### 問1

宮崎県で震度6弱の地震が発生しました。この地震により気象庁は、なにを発表しましたか。

.....

#### 問2

交流サイトには、どのようなデマが拡散されましたか。

.....

#### 問3

災害時に広がるデマには、どのような情報がありますか。

.....

.....

#### 問4

デマ情報に惑わされないためには、なにが必要であると、あなたは考えますか。

.....

.....